



KONICA MINOLTA

夏の星座解説

S-209 (6分51秒)

コニカミノルタプラネタリウム株式会社

夏の星空です。

昼の汗ばむような太陽が消えると、
暑さも少し和らいだように感じます。

更に、夏の夜空には、涼しげな大きな川が流れているのをご存知でしょうか？

そう、日本では七夕でも知られている
『天の川』です。

(間)

そんな夏の星々の中、頭の真上近くに、
明るい星を見つけることが出来ます。

見つかりましたか？

ほら、この星です。
この星は一等星の『ベガ』。

『天上の青ダイヤ』とも呼ばれる、
美しい夏を代表する星の一つです。

『ベガ』は、日本では七夕物語の
『織りひめ星』としても、有名です。

たいへん明るい星なので、街の夜空でも、
見つけることが出来るでしょう。

この『ベガ』は、星座で言うと
『こと座』の星になります。

ギリシャ神話では、琴の名人、
オルフェウスの豊琴が、
天に昇つて星座になつたと伝えられています。

わし座

『こ』と座』より、少し低いところに、
一羽の鷲が勇ましく飛び姿を描いた、
『わし座』があります。

アルタイル

『わし座』の中にある明るい星は、

一等星の『アルタイル』です。

『アルタイル』とは『飛ぶ鷲』といふ意味。

M

『こ』の『アルタイル』は、七夕の牽牛星、
『彦星』としても有名です。

七夕の『織りひぬ星』と『彦星』の物語。

一年に一度だけ会うことなどが語られた
愛の物語・・・

夏の星空で、そんな物語が展開されて
いるなんて、ちょっとロマンチックじゃ
ありませんか？

『天の川』の中を少し北に田をつづると、
明るい星を、を見つけることができます。

一等星の『デネブ』です。

『デネブ』から大きな十字の形に、
星が並んでいます。

この並びを十字架に見立て、南の『南十字』
に対して、これを『北十字』と呼んだり
します。

『デネブ』は、『はくちょう座』の星でも
あります。

デネブ

北十字

はくちょう座

『デネブ』には、『尾っぽ』とか『おしり』という意味があります。

名前の通り『デネブ』は白鳥の尾っぽの辺りに輝いていますね。

ベガ

アルタイル

デネブ

『こと座』の『ベガ』。
『わし座』の『アルタイル』。
そして、『はくちょう座』の『デネブ』。

この三つの星を結ぶと、
大きな三角形が出来上がります。

この『夏の大三角』は見つけやすいので、
覚えておくと、夜空で星座を見つけるときに役立ちます。

※音楽終わる

M

天の川を南の地平線へとたどって行きましょう。
赤い色をした、明るい星があります。
見つかりましたか？

これが、一等星の『アンタレス』です。

赤く輝く色から、日本では、まるで
お酒を飲んで、酔っぱらって赤くなつた星として、
『酒酔い星』とも呼ばれています。

『アンタレス』の辺りの星を結ぶと、
アルファベットの大きな『S』の字の形になります。

さそりの姿、『さそり座』です。

日本では、あまり馴染みがありませんが、
尾の先に毒針を持った生き物なのです。

さそり座

アンタレス

さそりライン

夏の大三角

ベガ

アルタイル

デネブ

いて座

赤く輝く『アンタレス』は、『さそり』の心臓に位置しています。

星空には、このサソリを弓で狙っているものがいます。

それは、『いて座』のケイローン。

ギリシャ神話では、ケイローンはケンタウルス族の出身の勇者でした。。

ケンタウルス族は、上手に馬を乗りこなしたと云われているので、星座の絵では、上半身が人間、下半身が馬という姿で描かれています。

※音楽終わり

M エンディング音楽

夏の夜空は、キラキラまばゆく輝く一等星を中心に、星たちが瞬きます。

『天の川』が最も明るく、見やすい季節も、この夏です。

明るく輝く三つの星で、見つけやすい
『夏の大三角』

この『夏の大三角形』をポイントにして、夏の星や星座の世界に旅立ちましょう。

今度は本当の星空で、今日紹介した星や星座を捜してみて下さい。

夜空に、星や星座を見つける喜びや楽しさ、きっと感じていただけだと思います！

夏の大三角

おわり